

【解答にあたっての注意】（一般入試）

- 一 専門試験は、史料解読と日本史学の二つからなる。
- 一 史料解読の試験は、問一から問四までの四問のなかから二問を選択して解答しなさい。
- 一 日本史学については、問題文の指示に従って解答しなさい。
- 一 解答は問題ごとに別紙の答案用紙を用い、いずれも縦書きで記しなさい。
- 一 史料解読（二問）と日本史学の配点比率は、一対一である。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史学

試験科目 日本史学 科目

問一 次の八つの語句の中から三つを選び、それぞれについて説明せよ。

位階	早良親王	遁世	大田文
大御所政治	両替商	日比谷焼打ち事件	市川房枝

問二 次の設問に答えよ。

史料の伝来と保存の問題について、具体的な史料群を例示しながら述べよ。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 日本文学

問題種別 専門試験
試験科目 史料解説 科目

問一

次の史料を読んで以下の設問に答えよ。

太政宣符

應前後國司共墓不與解由狀事

右得山陰道觀察使近衛中將從四位下安倍朝臣兄雄解符。國司交替式例其舊決。付領之類以斷新舊之論也。而比年諸國司等交替之時彼此相論。各是己言申請誼諱。或稱新任之官所勅罪理。解任之人尙被抑屈。或稱分付受領是非其任同時之官託言一人。如此之類。頗滋繁多。恐愚之官。味勞勅勅。成案之更徒煩。刀筆若殊不立。例證詳難。今實交替對換之日。尙有不釋。既錄所執。彼不與解由之狀。前後共墓限內言上。不得彼此連名申辭。然則是非之理已明。制所亦無藉據。其下知常道。依件令行。如慣。常不後。尙致違犯。恐之恒異。不可寬宥者。彼右大臣宣符。依條。其條道并五載內亦准此。

大同二年四月六日

(西曆八〇七九)

典拠：黒板勝美編『新訂増補国史大系 類聚三代格』吉川弘文館、二四〇～二四二頁

- (一) 傍線部 a 「不與解由狀」とはどのようなものか、またこれによつて、どのような効果が期待されていたのか、史料に基づいて説明せよ。
- (二) 傍線部 b 「觀察使」について説明せよ。
- (三) 傍線部 c 「付領」について説明せよ。
- (四) 傍線部 d 「比年諸國司等交替之時彼此相論、各是己言申請誼諱。」について漢字仮名交じりの書き下し文にせよ。また、「彼此」の意味を明示しながら口語訳せよ。
- (五) 傍線部 e 「称分付受領是非其任同時之官託言一人。」について、次の三点を説明せよ。
 1. これはどのようなことを主張しているのか。
 2. その背景となつてゐる律令官僚制の原則はどのようなものか。
 3. 一〇世紀にはその原則はどのように変化したか。

大学院入学試験問題
一般入試・社会人入試

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史学

試験科目 史料解法記 科目

問一 次に掲げる史料を読んで、下記の設問に答えよ。なお、史料文中の◇は、割書であることを示す。その他、適宜表記等を改めた箇所がある。

著作権法で定められている公
表された著作物を使用した所
学試験問題に該当する箇所
については、本Webページで
公衆送付について著作権者
より許諾を得ていないため、
これを削除し、出典名等を記
載するものとします。

(出典「山城醍醐寺文書」鎌倉遺文二、一五七五二号)

- (一) この亮券の事実上の充名人を答えよ。
- (二) 傍線①をよみ下し文に改めよ。漢字にはふりがなを付すこと。なお、「筆籠」については()で語義を補え。
- (三) 傍線②について、史料から読み取り得ることを述べよ。
- (四) 同じく傍線③について、時期や尼進念との関係で、考えられるところ、注目されるところを述べよ。
- (五) この史料は、なぜ「醍醐寺文書」として伝来しているのか、史料文中のキーワードを摘記しながら、考察せよ。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

分野・専門 日本史学

問題種別 専門試験

試験科目 史料解読

科目 No. 三

問三 別紙に示す十七箇条からなる郡府法令 A・B を読んで、以下の問いに答えよ。なお、B は A の異本を翻刻したものの抜粋である。文字遣いに多少の異同があるが内容には変わらない。

- (一) A 冒頭の史料題名を翻刻して示せ。
- (二) ①、③、④、⑤ 条に共通する趣旨を漢字二文字で示せ。
- (三) ⑥ 条のもつ歴史的意味について簡潔に述べよ。
- (四) (二) (三) で言及した六箇条を除いた十一箇条を、その内容に共通性が認められる二つの群およびいずれにも当てはまらない「その他」の三群に分けて整理せよ。そして、内容に共通性が認められる二つの群について、それぞれに含まれる箇条がどれであるかを明記しながら、それぞれの群で共通する趣旨が何であるかを簡潔に記せ。
- (五) この十七箇条の郡府法令が出された社会的背景を簡潔に述べよ。

出典：A 『内閣文庫所蔵史籍叢刊』 20 大成令(二) 六七〇～六七二頁
汲古書院、一九八二年

B 『徳川禁令考』 後集第二 一〇六～一〇七頁、創文社、一九八二年

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

2020年度第1期

問題種別 専門試験
試験科目 史料解説

科目 三
20分

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

本学院入学試験問題 (一般入試) 社会人入試

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史学

試験科目 史料解釈 科目

問四 次の史料(詔書)を読んで、以下の設問に答えよ。

茲ニ新年ヲ迎フ。願ミレバ明治天皇明治ノ初國是トシテ五箇条ノ御誓文ヲ下シ給ヘリ。曰ク、

[A]

- 一、 広ク會議ヲ興シ万機公論ニ決スヘシ
- 一、 ①上下心ヲ一ニシテ盛ニ禮節ヲ行フヘシ
- 一、 官武一途庶民ニ至ル迄各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦マサシメンコトヲ要ス
- 一、 旧來ノ陋習ヲ敬リ天地ノ公道ニ基クヘシ
- 一、 僭竊ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ

詔旨公明正大、又何ヲ加ヘン。朕ハ茲ニ誓ヲ新ニシテ國運ヲ開カント欲ス。須ラク此ノ御
 越旨ニ即リ、旧來ノ陋習ヲ去リ、民意ヲ暢達シ、官民善ガテ平和主義ニ徹シ、教養盡力ニ文
 化ヲ築キ、以テ民生ノ向上ヲ図リ、新日本ヲ建設スヘシ。
 大小都市ノ蒙リタル戦禍、罹災者ノ艱苦、産業ノ停頓、食糧ノ不足、失業者増加ノ趨勢等ハ
 真ニ心ヲ痛マシムルモノアリ。然リト雖モ、我國民ガ現在ノ試煉ニ直面シ、且徹頭徹尾文明
 ヲ平和ニ求ムルノ決意固ク、克ク其ノ結果ヲ全ウセバ、孤リ我國ノミナラズ全人類ノ為ニ、
 輝カシキ前途ノ展開セラルルコトヲ疑ハズ。
 夫レ家ヲ愛スル心ト國ヲ愛スル心トハ我國ニ於テ特ニ熱烈ナルヲ見ル。今ヤ實ニ此ノ心ヲ振
 売シ、人操業ノ完成ニ向ヒ、徹身の努力ヲ効スベキノ秋ナリ。
 惟フニ長キニ互レル戦争ノ敗。北ニ終リタル結果、我國民ハ助モスレバ焦燥ニ流レ、失意ノ淵
 ニ沈淪セントスルノ傾キアリ。詭激ノ風潮ク長シテ道義ノ念頗ル衰ヘ、為ニ思想混乱ノ兆ア
 ルハ悔ニ深憂ニ極ヘズ。
 然レドモ朕ハ爾等國民ト共ニ在リ、常ニ利害ヲ同ジウシ休戚ヲ分タント欲ス。朕ト爾等國民
 トノ間ノ紐帯ハ、終始相互ノ信頼ト敬愛トニ依リテ結ハレ、単ナル神話ト伝説トニ依リテ生
 ゼルモノニ非ズ。天皇ヲ以テ神御トシ、且日本國民ヲ以テ他ノ民族ニ優越セル民族ニシテ、
 延テ世界ヲ支配スベキ運命ヲ有ストノ架空ナル觀念ニ基クモノニモ非ズ。
 朕ノ政府ハ國民ノ試煉ト苦難トヲ緩和センガ為、アラユル施策ト經營トニ万全ノ方途ヲ講ス
 ベシ。同時ニ朕ハ我國民ガ時艱ニ懸起シ、当面ノ困苦克服ノ為ニ、又産業及文運振興ノ為ニ
 勇往センコトヲ希念ス。我國民ガ其ノ公民生活ニ於テ閉結シ、相倚リ相扶ケ、寛容相許スノ
 氣風ヲ作興スルニ於テハ、能ク我至萬ノ伝統ニ恥チザル真髓ヲ發揮スルニ至ラン。斯ノ如キ
 ハ實ニ我國民ガ人類ノ福祉ト向上下ノ為、絶大ナル貢獻ヲ為ス所以ナルヲ疑ハザルナリ。
 一年ノ計ハ年頭ニ在リ、朕ハ朕ノ信頼スル國民ガ朕ト其ノ心ヲ一ニシテ、自ラ奮ヒ自ラ勵マ
 シ、以テ此ノ大業ヲ成就センコトヲ庶幾フ。

御名 御璽

昭和二十一年一月一日

[B]

- | | |
|-----------------------|----------|
| 内閣総理大臣兼②第一復興大臣兼第二復興大臣 | 男爵 幣原喜重郎 |
| 司法大臣 | 岩田吉造 |
| 農林大臣 | 松村謙三 |
| 文部大臣 | 前田多門 |
| 外務大臣 | 吉田茂 |
| 内務大臣 | 堀切善次郎 |
| 国務大臣 | 松本泰治 |
| 厚生大臣 | 芦田均 |
| 国務大臣 | 次田大二郎 |
| 大蔵大臣 | 子爵 渡辺敏三 |
| 運輸大臣 | 田中武雄 |
| 商工大臣 | 小笠原三九郎 |
| 国務大臣 | 小林一三 |

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野: 専門 日本史学

試験科目 史料研究 科目

出典:『信報』号外(昭和二十一年二月一日)大蔵省印刷局

- (一) 【A】がこの詔書に挿入された意図、その効果について述べよ。
- (二) 傍線部①について、「経緯」に注意しながら解釈せよ。
- (三) 【A】に対しては後年、吉野作造が「明治政府の当路者は、金にも困り兵力にも困り、剩餘の結果悲鳴を擡げるに到つた。その際陛下の出されたのが五箇條の御誓文である。」(吉野「現代政府の史的背景」朝日新聞社編『時局問題批判』一九二四年)と評し、大問題となった。なぜ吉野はそのように【A】を評価したのか。【A】の出された形式や内容、その後の明治政治史、吉野が生きた大正期の政治・社会状況を踏まえつつ論じよ。
- (四) 【B】のように、詔書に大臣が名を連ねることを何と言うか。また、その意味について説明せよ。
- (五) 傍線部②は元々どのような組織が改編されて設置されたものか。【B】をよく見て答えよ。
- (六) この詔書が出されるに至つた歴史的背景について概説せよ。その際、この詔書では敗戦後の日本社会がどのようになつていると考えられ、国民と天皇の関係性は戦前から敗戦後にどのように変化すべきと述べられているかを読み取りつつ、論じること。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 東洋史学

試験科目 アジア史基礎 科目

問 次の事項の中から 4 つを選択して説明しなさい (各数行～10 行程度)。

解答は解答用紙に書き、選択した事項の番号を明記すること。現代日本語・

中国語・英語のいずれかで解答してよい。

- (1) 実録
- (2) ジャンク船
- (3) 司馬光
- (4) 泉州
- (5) 郡県制
- (6) 呉三桂
- (7) ピュー
- (8) 五四運動
- (9) 『呉時外国伝』
- (10) 軍機処

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 東洋史学

試験科目 漢文文献解読 科目

問題) 下記の文章を現代日本語に訳しなさい。

夫史者國之大典也而當職之人不知留意於憲章徒相尚於言語正猶當家之婦不事饗飧專鼓唇舌縱然得勝豈能肥家此臣之所深恥也江淹有言修史之難無出於志誠以志者憲章之所繫非老於典故者不能為也不比紀傳紀則以年包事傳則以事繫人儒學之士皆能為之惟有志難其次莫如表所以范曄陳壽之徒能為紀傳而不敢作表志志之大源起於爾雅司馬遷曰書班固曰志蔡邕曰意華嶠曰典……餘史並承班固謂之志皆詳於浮言略於事實不足以盡爾雅之義臣今總天下之大學術而條其綱目名之曰略凡二十略百代之憲章學者之能事盡於此矣

(鄭樵『通志』總序)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 西洋史学

問題種別 専門試験
試験科目 西洋史学 科目

次の(A)、(B)から1つを選び、その選択したテーマについて、西洋史上の具体例を示しつつ、可能な限り幅広く論じなさい。

(A) 移動 (migration)

(B) 暦 (calendar)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 英語 I 科目

I 大西洋を囲む四大陸（南北アメリカ大陸・ヨーロッパ大陸・アフリカ大陸）の相互連関を考究対象とする大西洋史（Atlantic History）について述べた次の文章を読んで、下記の問に答えなさい。

(1)

(2)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(3)

【Philip J. Stern, "British Asia and British Atlantic: Comparisons and Connections," *William and Mary Quarterly*, 3d Series, Vol. 63, No. 4 (2006), p. 693.】

問1 下線部（1）の文章を日本語に訳しなさい。

問2 点線部（2）の文章が意味するところを簡潔に述べなさい（全訳する必要はありません）。

問3 下線部（3）の文章を日本語に訳しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 英語Ⅱ 科目

Ⅱ 以下の英文を読んで、問いに答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

出典：Ernst Breisach, *Historiography: Ancient, Medieval, and Modern*,
Third Edition (The University of Chicago Press, 2007), p.1.

問1 第1パラグラフの文章全体を日本語に訳しなさい。

問2 第2パラグラフの文章を日本語で要約しなさい。

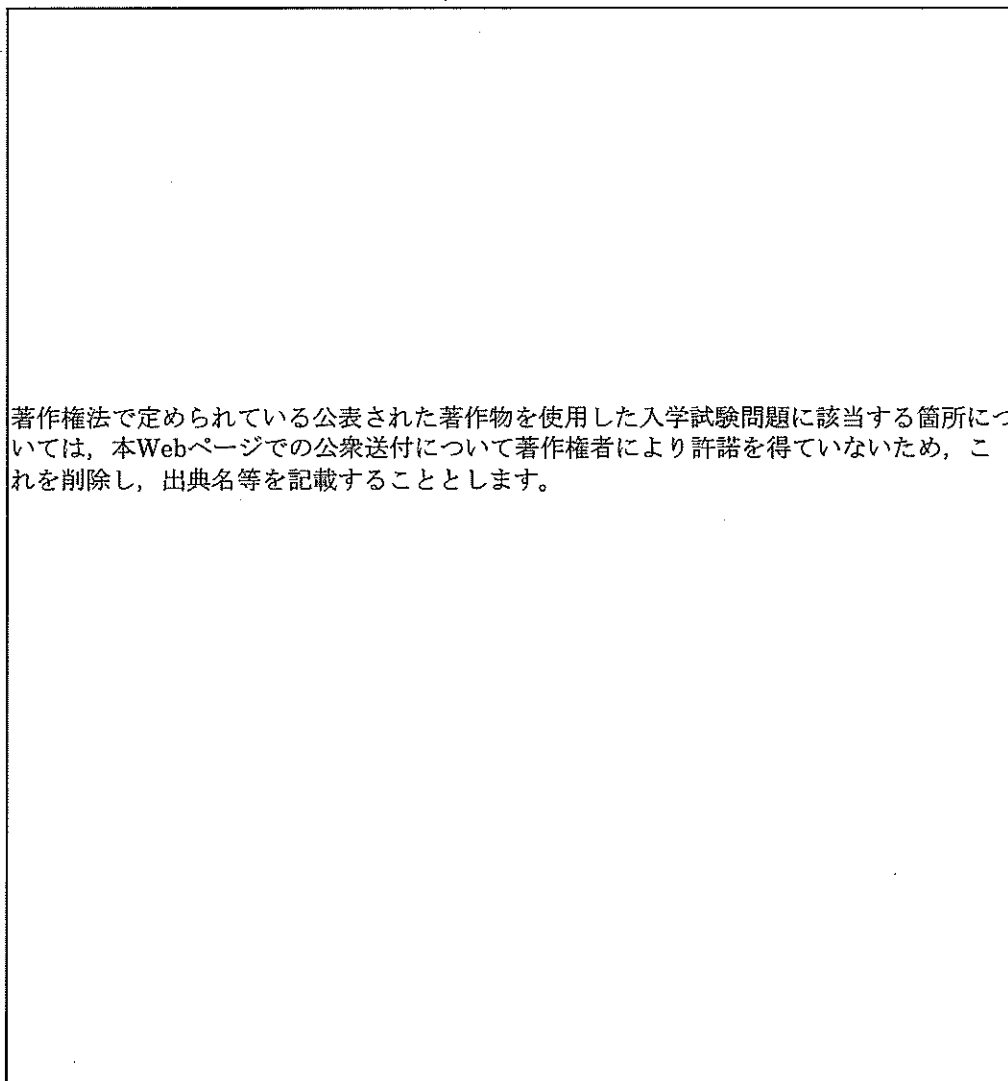
大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 西洋史学

問題種別 専門試験
試験科目 ドイツ語 科目

以下のドイツ語を読んで、下線部①、②、③を日本語に訳しなさい。②は主語の代名詞が何を指しているか明示すること。

①



著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

②

③

(1) ローマ・クラブは、1968年に資源・人口・経済など全地球的な問題に対処するために立ち上げられた民間のシンクタンク。

(2) 「全体史」。人間社会の歴史を、人物や事件だけではなく、人間が生活する地理的な状況や経済変動を視野に入れて分析する手法を指す。

Reinhold Reith, *Umweltgeschichte der Frühen Neuzeit*, München: Oldenbourg Verlag 2011, S. 1-2. (綴りは原著のママ)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 フランス語 科目

次の文章を読んで、下線部①～③を日本語に訳しなさい。

①

②

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

③

出典：Laurent Feller, *Église et société en Occident. VII^e-XI^e siècle*, Armand Colin, Paris, 2001, p. 7.

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 美学美術史学

問題種別 専門試験
試験科目 日本・西洋美術 科目

問題 下記のA, B二つの語群からそれぞれ一つ以上の項目を選び、計三項目について説明を加えよ。

【注意】

- ・三項目が二枚の解答用紙に収まるよう論述の量を工夫すること。
- ・解答は、語群の順番通りでなくともよい。
- ・解答の冒頭に、解答する項目名を記すこと。

A 群

1. 高松塚古墳
2. 一遍聖絵
3. 近世初期風俗画
4. 日本画

B 群

1. エドゥアール・マネ《オランピア》
2. ヤン・ファン・エイク《アルノルフィーニ夫妻の肖像》
3. レオナルド・ダ・ヴィンチ《最後の晩餐》
4. パリ、ノートル＝ダム大聖堂

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 美学美術史学

問題種別 専門試験
試験科目 英語 科目

問題 以下の英文を、註を参考にして和訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

註

practise=practice

tablet (ロウでできた) 書字板

(出典: Michael Baxandall, *Painting and Experience in Fifteenth Century Italy*, Oxford University Press, 1972, p. 45, l. 3-15.)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 美学美術史学

問題種別 専門試験
試験科目 ドイツ語 科目

問題 以下の独文を、註を参考にして和訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

註

u. a. 等々、その他
Neuerung 革新、改革
neuerlich 新たに、再度
d. h. すなわち

(出典: Maria Carla Prette, *Kunst verstehen*, Naumann & Göbel Verlagsgesellschaft, 2017, p. 270, l. 1-14.)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 美学美術史学

試験科目 フランス語 科目

問題 以下の仏文を、註を参考にして和訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

註

se démarquer de… …と一線を画する

à bien des égards 多くの点で

accorder 与える

étiquette レッテル、ラベル

(出典 :Susie Hodge, *L'art en détail. 100 chefs-d'œuvre expliqués*, Eyrolles, 2017, p. 267, l. 1-12.)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化人類学

試験科目 文化人類学 科目

問 1、下記のテーマ群の中からテーマをふたつ選び、それぞれ具体的な事例をあげながら自由に論じなさい。

解答用紙はひとつのテーマにつき、一枚使用すること。

- ・ 宗教と政治
- ・ 機能と象徴
- ・ 信仰と実践
- ・ 文字と口頭伝承
- ・ 神話と儀礼
- ・ 少数民族と観光
- ・ 親族と相続

問 2、次の英文を読み、内容を要約しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

* 出典：Sherry B. Ortner, *Anthropology and Social Theory: Culture, Power, and The Acting Subject*, Duke University Press, 2006. (一部改変)

問 3、文化人類学のフィールドワークとはどのようなものか、簡潔に述べたうえで、あなたが修士研究においておこなうフィールドワークの内容について、全体の研究計画と関連させながらできるだけ詳細に書いてください。

調査の目的（何を、どこまで明らかにしようとするのか）、調査項目、調査手法、調査の際の留意点や心構えについて、今日のフィールドワークを取り巻く状況を考慮しつつ、自由に記述してください。